

第15回 日本痤瘡研究会学術大会

会 頭 赤松 浩彦(藤田医科大学医学部応用細胞再生医学講座)

日 時 2026年8月2日 (日) 15:20~17:20

会 場 ウェスティンホテル仙台 3F 第2会場 (エルミタージュ)
(第44回日本美容皮膚科学会総会・学術大会会場内)

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1

参加費 個人会員：無料 (予め配布する参加証を御持参ください。)

賛助会員：(1名につき)10,000円※

非会員：(医師) 5,000円※ / (その他：1名につき)15,000円※

※事前登録の方には、予め参加証をお送りします。

座長：赤松 浩彦 (藤田医科大学医学部応用細胞再生医学講座)

講演1 皮脂および角層脂質の機能と炎症性皮膚疾患

演者：福田 桂太郎 (理研IMS皮膚恒常性研究チーム)

皮膚は私達の体の表面を覆い、私達のデリケートな体を守るバリアとして機能する。その中心的役割を担うのが皮脂腺由来の皮脂および角層中の角層脂質であり、水分喪失の抑制、抗菌ペプチドによる皮膚微生物叢制御を通じて皮膚バリア恒常性を維持する。近年、炎症性皮膚疾患では皮脂・角層脂質の組成や免疫細胞との相互作用が破綻することが明らかとなり、病態形成との関連が注目されている。本講演では、臨床的観点から皮脂・角層脂質と皮膚バリア機能の関係について概説する。

座長：林 伸和 (虎の門病院 皮膚科)

講演2 酒皸の赤ら顔最新情報

演者：山崎 研志 (ALOOP CLINIC & LAB)

2022年にメトロニダゾール外用薬が酒皸保険診療に適用拡大されて以降、酒皸の保険病名登録は数倍に増加し、酒皸に対する社会の関心も高まっている。酒皸保険診療で炎症性皮疹・丘疹膿疱型酒皸に対する治療方法が安定して提供されるようになった一方、酒皸の症候として最も頻度の高い赤ら顔・紅斑毛細血管拡張型酒皸の寛解導入方法は確立されていない。本講演では、酒皸の赤ら顔対策に関連した話題を軸に酒皸治療の問題点を整理する。

講演3 客観的評価指標を利用したニキビ治療への挑戦

演者：志藤 光介 (東北大学皮膚科、青葉通り一番町形成外科皮ふ科、株式会社Athnomedical)

ニキビは罹患率が高い一方で、日本では受診率が低いことが課題である。本研究では、臨床画像を用いて炎症性皮疹および非炎症性皮疹を自動検出・分類するAIモデルを構築し、客観的かつ再現性の高い重症度評価指標の開発を試みた。アノテーションデータを基盤に学習した深層学習モデルにより、定量的スコアリングと経時的変化の可視化を可能とした。本発表ではモデル設計、性能評価および臨床応用可能性について報告する。

日本痤瘡研究会 (HP: <https://zasou.org>)

(事務局) 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12新宿ラムダックスビル9F (株) 春恒社 内
TEL: 03-5291-6231 / FAX: 03-5291-2176 E-mail: jars-office@shunkosha.com

第15回 日本痤瘡研究会学術大会

申込書

※事前申込にご協力ください。(個人会員の方は登録不要です。)

事前申込受付締切：2026年7月12日(日)(7月12日以降は当日現地申し込みになります。申し込み用紙に必要事項を記載の上、ご持参ください。)

参加費：(非会員医師) 5,000円/人、(賛助会員) 10,000円/人、(その他) 15,000円/人

事前申込をされる際は、必要事項をご記入のうえ、下記事務局までメール又は郵送にてお送りください。

いずれかにチェック☑をお願いします。

賛助会員

非会員 (医師、 その他)、(入会希望 入会希望なし)



事前申込をされる際は、
こちらのQRコードから
お申しいただく事も可能です。

| | |
|--|--------------------|
| ふりがな | |
| ご芳名 | |
| ご住所 (<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務地) | 〒 - 都道 市区 府県 町村 |
| ご所属 | |
| 電話番号 | () - |
| メールアドレス | @ |

※ご登録いただいた情報は、本研究会の運営管理にのみ使用いたします。第三者への個人情報の提供・開示はいたしません。

賛助会員をご希望の方は別途事務局までご連絡ください。

研究会役員

- 理事長 林 伸和 (虎の門病院皮膚科部長)
- 副理事長 小林 美和 (こばやし皮膚科クリニック副院長)
- 理事 赤松 浩彦 (藤田医科大学医学部応用細胞再生医学講座教授)
- 佐藤 隆 (東京薬科大学薬学部生化学教室教授)
- 大日 輝記 (香川大学医学部皮膚科教授)
- 古村 南夫 (福岡歯科大学総合医学講座皮膚科学分野教授)
- 堀内 祐紀 (秋葉原スキンクリニック院長)
- 山崎 修 (島根大学医学部皮膚科学講座教授)
- 山本 有紀 (和歌山県立医科大学皮膚科准教授)
- 監事 黒川 一郎 (明和病院皮膚科部長/にきびセンター長)
- 顧問 窪田 泰夫 (香川大学名誉教授)

日本痤瘡研究会

日本痤瘡研究会(Japan Acne Research Society, 略称JARS)は、痤瘡研究者の意見交換の場をつくり、痤瘡の基礎研究や疫学調査、臨床研究を推進することによって、科学的根拠のある治療法の確立とその普及に努めることを目的に2012年6月に発足しました。

(五十音順)

日本痤瘡研究会 (HP: <https://zasou.org>)

(事務局) 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12新宿ラムダックスビル9F (株) 春恒社 内
TEL: 03-5291-6231/FAX: 03-5291-2176 E-mail: jars-office@shunkosha.com